

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和4年12月】

■調査概要（データ対象期間：令和4年12月1日～12月31日）

○調査期間：令和4年12月23日～令和5年1月24日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査

○回収状況：建設業20企業、製造業18企業、卸売業12企業、小売業24企業

飲食業14企業、サービス業38企業（運輸、不動産仲介業を含む）

<合計126企業>

○調査項目：12月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価

状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準と

して、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下

向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示す

ものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DI、水準DIともにマイナス幅の拡大

1. 業況判断

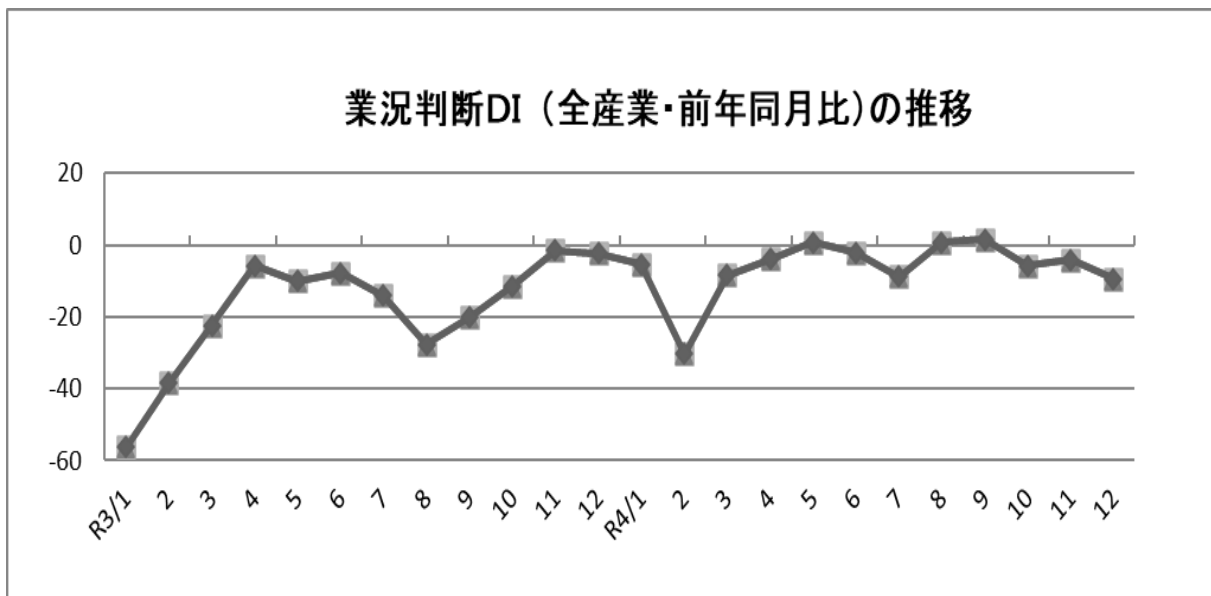
- 全産業合計の業況DI(前年同月比ベース)は、前月(▲4.1)よりマイナス幅が5.4ポイント拡大し、▲9.5となった。業種別では、サービス業、小売業はプラスからマイナスに転じた。卸売業はマイナスから0になった。飲食業はマイナス幅が縮小し、製造業、建設業はマイナス幅が拡大した。
- 全産業合計の水準DIは、前月(▲13.7)よりマイナス幅が6.2ポイント拡大し、▲19.9となった。業種別では、卸売業はプラスからマイナスに転じた。飲食業、サービス業はマイナス幅が縮小し、製造業、建設業、小売業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	13.5 (17.7)	63.5 (60.5)	23.0 (21.8)	▲ 9.5 (▲ 4.1)	10.3 (12.9)	59.5 (60.5)	30.2 (26.6)	▲ 19.9 (▲ 13.7)
建設業	5.0 (0.0)	55.0 (90.0)	40.0 (10.0)	▲ 35.0 (▲ 10.0)	5.0 (0.0)	70.0 (95.0)	25.0 (5.0)	▲ 20.0 (▲ 5.0)
製造業	16.7 (20.0)	55.5 (50.0)	27.8 (30.0)	▲ 11.1 (▲ 10.0)	11.1 (25.0)	55.6 (40.0)	33.3 (35.0)	▲ 22.2 (▲ 10.0)
卸売業	16.7 (18.2)	66.6 (54.5)	16.7 (27.3)	0.0 (▲ 9.1)	8.3 (27.3)	66.7 (54.5)	25.0 (18.2)	▲ 16.7 (9.1)
小売業	16.7 (23.8)	62.5 (57.2)	20.8 (19.0)	▲ 4.1 (4.8)	20.8 (19.0)	37.5 (57.2)	41.7 (23.8)	▲ 20.9 (▲ 4.8)
飲食業	14.3 (20.0)	64.3 (46.7)	21.4 (33.3)	▲ 7.1 (▲ 13.3)	7.1 (6.7)	64.3 (53.3)	28.6 (40.0)	▲ 21.5 (▲ 33.3)
サービス業	13.2 (21.6)	71.0 (59.5)	15.8 (18.9)	▲ 2.6 (2.7)	7.9 (8.1)	65.8 (59.5)	26.3 (32.4)	▲ 18.4 (▲ 24.3)

()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」…前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」…事業主の方の主観による回答の集計

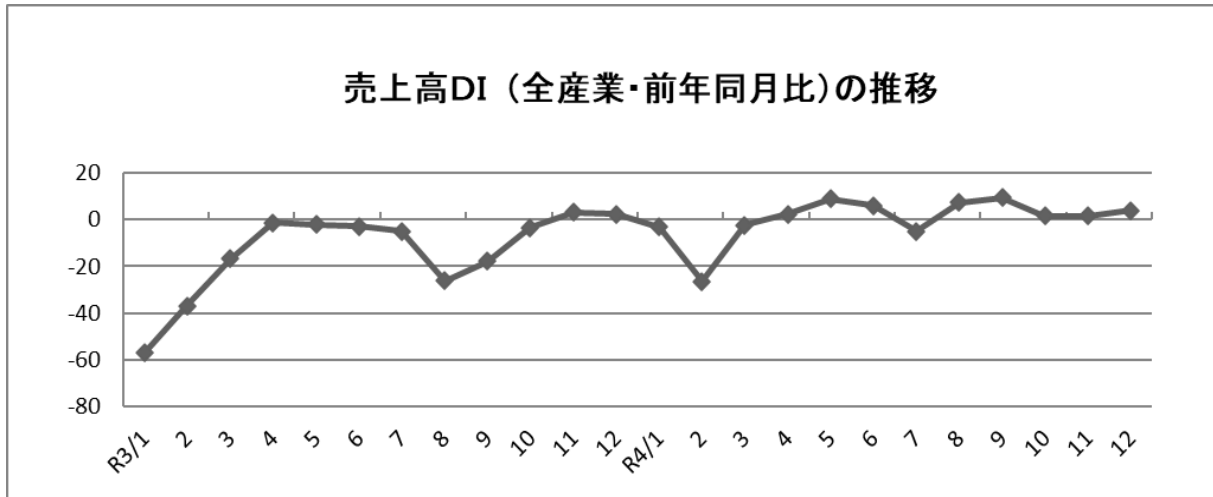


2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月(1.6)よりプラス幅が2.4ポイント拡大して、4.0となった。業種別に見ると、小売業、卸売業はプラス幅が縮小した。建設業はプラスからマイナスに転じ、製造業、飲食業、サービス業はマイナスからプラスに転じた。

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	R3年12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全体	2.3	▲3.1	▲26.5	▲2.3	2.4	9.0	6.0	▲4.9	7.2	9.4	1.6	1.6	4.0
建設業	▲5.5	▲15.8	▲23.8	▲25.0	▲15.8	▲19.1	▲21.0	▲36.8	▲10.5	▲10.5	▲20.0	5.0	▲25.0
製造業	▲5.0	10.5	▲52.7	0.0	▲16.6	▲10.0	5.5	▲12.5	5.9	15.8	0.0	▲5.0	11.1
卸売業	8.3	40.0	40.0	23.1	54.5	23.1	25.0	0.0	33.4	58.3	9.1	27.3	16.7
小売業	9.1	4.4	▲28.0	4.2	4.5	26.1	▲3.9	0.0	▲9.5	4.2	4.8	4.8	4.2
飲食業	16.6	▲50.0	▲80.0	▲35.3	0.0	7.2	11.8	5.9	33.4	20.0	30.8	▲6.6	7.2
サービス業	▲2.5	0.0	▲12.0	9.8	5.0	19.0	17.0	4.8	7.5	0.0	0.0	▲2.7	10.5

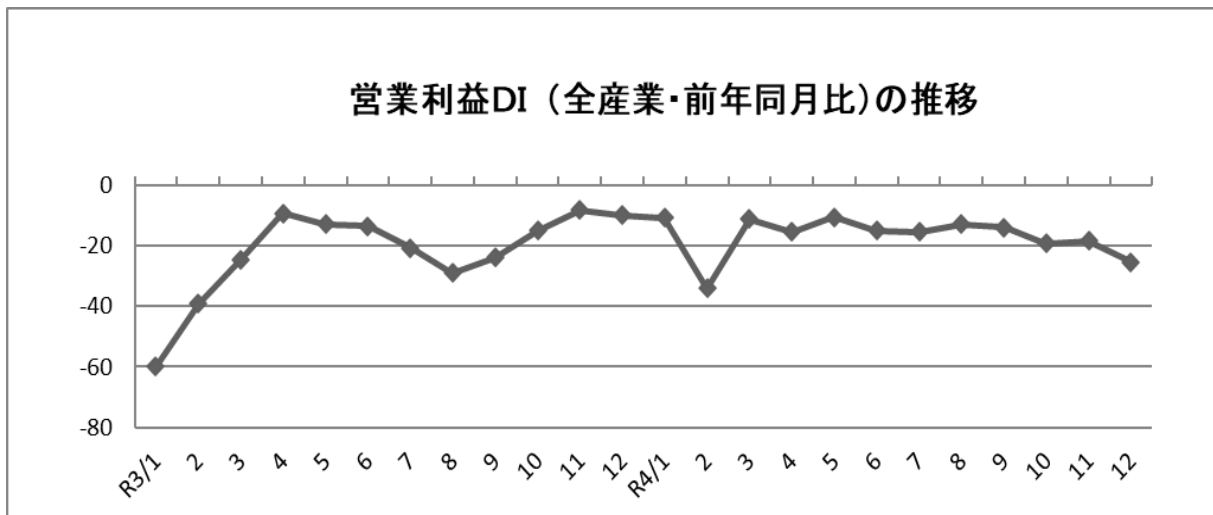


3. 営業利益DI（前年同月比）

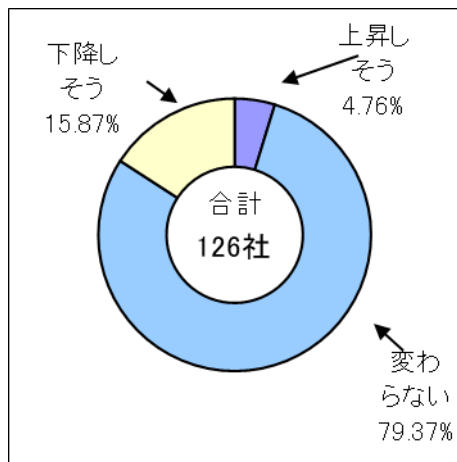
○全産業合計の営業利益DIは、前月(▲18.5)よりマイナス幅が6.9ポイント拡大して、▲25.4となった。業種別に見ると、サービス業はマイナス幅が縮小し、飲食業、小売業、卸売業、製造業、建設業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	R3年12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全体	▲10.0	▲10.8	▲34.1	▲11.3	▲15.4	▲10.6	▲15.0	▲15.4	▲12.9	▲14.1	▲19.4	▲18.5	▲25.4
建設業	▲27.8	▲21.0	▲23.8	▲30.0	▲31.6	▲38.1	▲36.8	▲31.6	▲21.0	▲26.3	▲15.0	▲10.0	▲45.0
製造業	▲35.0	▲10.6	▲57.9	▲11.1	▲44.5	▲50.0	▲27.8	▲25.0	▲23.6	▲36.8	▲36.9	▲35.0	▲61.1
卸売業	0.0	30.0	0.0	▲7.7	27.3	15.4	▲8.3	▲9.1	25.0	25.0	▲18.2	▲18.2	▲25.0
小売業	0.0	0.0	▲16.0	4.1	0.0	8.7	▲23.1	▲27.8	▲42.9	▲4.2	▲28.6	▲9.6	▲12.5
飲食業	16.6	▲56.2	▲80.0	▲47.0	▲21.5	▲21.5	▲11.8	▲11.8	▲13.3	▲33.3	▲30.8	▲26.7	▲28.6
サービス業	▲10.0	▲4.7	▲31.0	2.4	▲12.5	7.1	2.4	▲2.4	0.0	▲7.7	▲5.0	▲16.2	▲5.2



◇ 向こう3カ月の見通し ◇

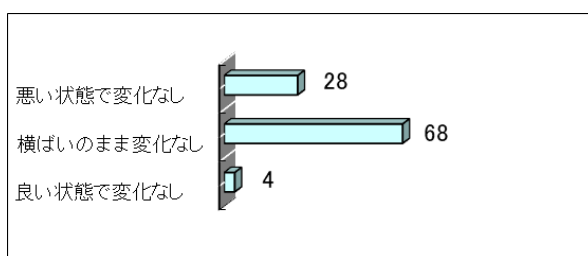


○令和5年1月～令和5年3月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ2.50ポイント下降し4.76%、「下降しそう」が6.19ポイント上昇し15.87%となった。業種別の見通しDIは建設業(▲5.0)、製造業(▲27.7)、卸売業(▲16.7)、小売業(▲16.6)、飲食業(0.0)、サービス業(▲5.2)であった。

➡「上昇しそう」では「年度末に期待しているため」(建設業)「良い时期的要因があるため」(小売業)「コロナ禍の影響が収まってきているため」(飲食業)「インバウンドも制限が緩和され、全国旅行支援も再開されるため」「職業訓練受講者数が比較的高水準で安定しているため」(サービス業)といった声が寄せられた。

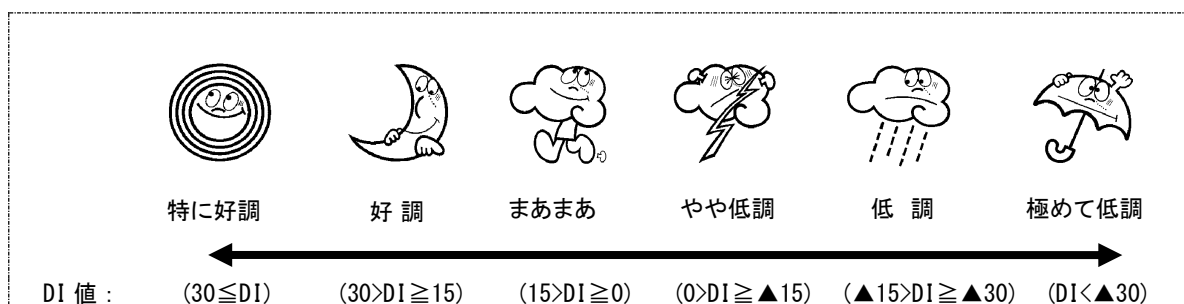
➡「変わらない」では「特に明るい見通し等が見当たらないため」(建設業)「値上げ基調の市場において依然安価を要求される事例があるため」(製造業)「特需的な材料がないため」(小売業)といった声が寄せられた。

➡「下降しそう」では「引合がないため」(建設業)「物件数の減少があったため」(建設業)「注文数が減っているため」(建設業)「大口受注先からの受注の低迷があるため」(建設業)「受注量が落ち込んでいるため」(製造業)「仕入価格上昇分を販売価格に転嫁できるかどうか分からない。できても販売量が減ってしまう可能性があるため」(卸売業)「クリスマスや正月明けの買い控えに加えて悪天候による外出の減少があるため」(小売業)「年末年始の謝恩セールで、相当数の定期顧客に購入していただいたのでその反動が出そうなため」(小売業)「オフシーズンに入るため」(サービス業)「新型コロナウイルス感染症が流行しているため」(サービス業)「全国旅行支援の割引率が低下しているため」(サービス業)といった声が寄せられた。また「閑散期であるため」といった声が多数寄せられた。

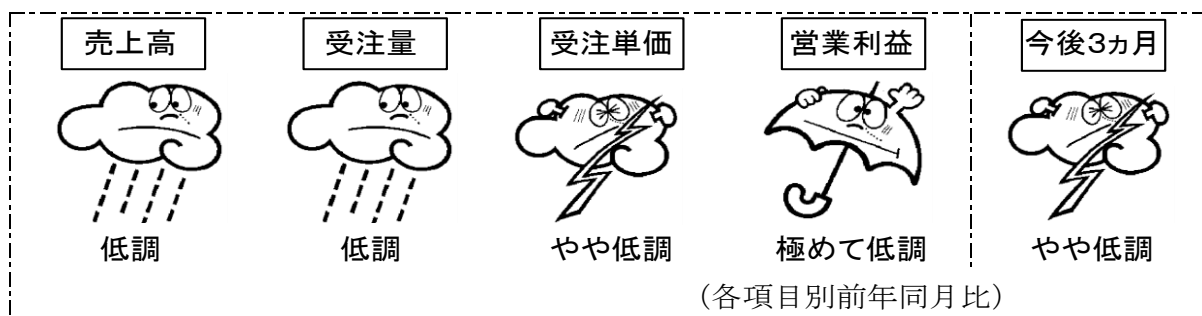


業種別景況

<DI | 君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

	R3年12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	▲ 5.5	▲ 15.8	▲ 23.8	▲ 25.0	▲ 15.8	▲ 19.1	▲ 21.0	▲ 36.8	▲ 10.5	▲ 10.5	▲ 20.0	5.0	▲ 25.0
受注量	▲ 38.9	▲ 31.5	▲ 42.9	▲ 30.0	▲ 21.0	▲ 23.8	▲ 15.8	▲ 31.6	▲ 5.3	▲ 15.8	10.0	0.0	▲ 30.0
受注単価	▲ 11.1	▲ 15.8	▲ 19.0	▲ 10.0	10.5	▲ 4.7	5.3	▲ 10.5	▲ 5.3	▲ 5.2	▲ 15.0	0.0	▲ 5.0
営業利益	▲ 27.8	▲ 21.0	▲ 23.8	▲ 30.0	▲ 31.6	▲ 38.1	▲ 36.8	▲ 31.6	▲ 21.0	▲ 26.3	▲ 15.0	▲ 10.0	▲ 45.0
見通し	▲ 5.5	▲ 15.8	▲ 19.0	▲ 5.0	0.0	▲ 4.7	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 10.0	▲ 5.0

<経営者の目・見方・e t c>

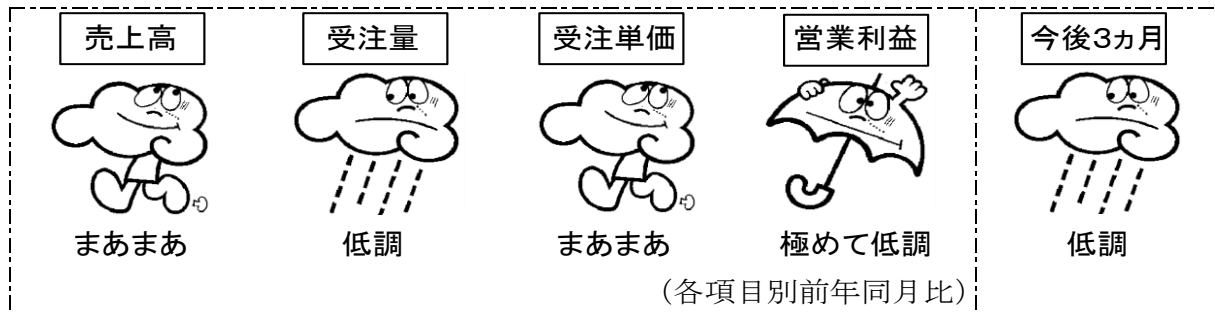
建設業

・資材単価の上昇が続いているが、発注単価の反応が追いついておらず利益が出にくい。工事発注量も昨年に比べて少なく感じる。

土木工事

・公共工事の受注量は比較的堅調のようである。国土強靱化計画、災害復旧工事の発注量が多い。
 ・最近 M&A で経営者が変わった同業者が増えてきていると感じている。

2. 製造業



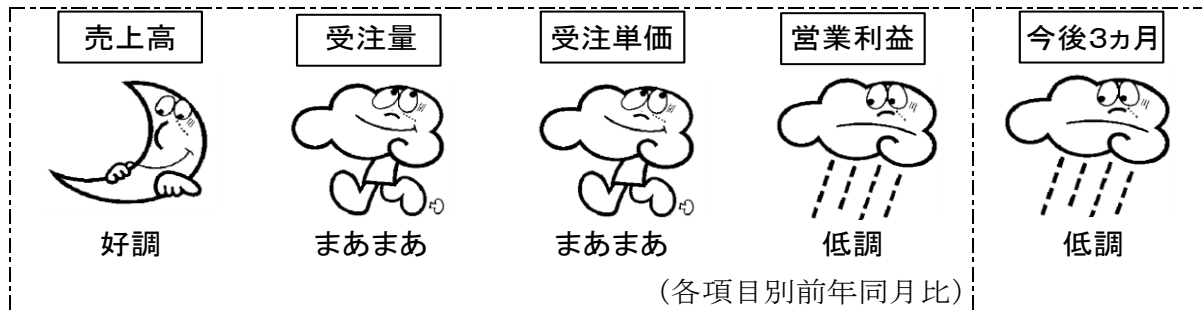
【項目別DIの推移】

	R3年12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	▲ 5.0	10.5	▲ 52.7	0.0	▲ 16.6	▲ 10.0	5.5	▲ 12.5	5.9	15.8	0.0	▲ 5.0	11.1
受注量	▲ 10.0	5.2	▲ 47.4	5.5	▲ 22.2	10.0	11.1	▲ 25.0	▲ 11.7	15.8	▲ 15.8	▲ 5.0	▲ 16.6
受注単価	▲ 5.0	▲ 10.5	▲ 21.0	▲ 5.5	11.1	5.0	16.7	6.2	11.7	15.8	21.1	20.0	11.1
営業利益	▲ 35.0	▲ 10.6	▲ 57.9	▲ 11.1	▲ 44.5	▲ 50.0	▲ 27.8	▲ 25.0	▲ 23.6	▲ 36.8	▲ 36.9	▲ 35.0	▲ 61.1
見通し	▲ 20.0	▲ 15.8	5.3	▲ 22.2	▲ 16.7	▲ 5.0	5.5	▲ 12.5	5.8	0.0	0.0	▲ 5.0	▲ 27.7

<経営者の目・見方・e t c>

- | | |
|---|---|
| <p>プレス加工</p> <p>小型情報機器組立</p> <p>金属塗装</p> <p>紙器</p> <p>印刷</p> <p>食料・飲料</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・原材料の影響を注視する状況で一段と厳しさを実感している。 ・少し動き出したかと思いきや、部品(特に半導体や銅)の入荷が滞るようである。 ・受注、売上は横ばいであったが、材料費、燃料等の値上がり分を売価に転嫁しきれず不採算となっている。 ・12月は前年より伸びてきているが、人手不足、資材の高騰、値上げ等種々の問題が多くなり悩んでいる。 ・印刷業界でも後継者、事業承継が課題となっている。 ・原材料コストの上昇に伴い、再度値上げが必要となっている。 |
|---|---|

3. 卸売業



【項目別DIの推移】

	R3年12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	8.3	40.0	40.0	23.1	54.5	23.1	25.0	0.0	33.4	58.3	9.1	27.3	16.7
販売客数	▲ 16.7	10.0	▲ 10.0	7.7	18.2	7.7	16.7	▲ 27.3	16.7	25.0	9.1	▲ 9.1	0.0
販売客単価	8.3	40.0	20.0	30.8	36.4	38.5	41.7	9.1	41.7	50.0	36.4	18.2	8.4
営業利益	0.0	30.0	0.0	▲ 7.7	27.3	15.4	▲ 8.3	▲ 9.1	25.0	25.0	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 25.0
見通し	▲ 25.0	0.0	10.0	0.0	▲ 9.1	0.0	8.4	▲ 18.2	▲ 16.7	0.0	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 16.7

<経営者の目・見方・e t c>

青果

・物価高の影響もあり、単価の高いものについては買い控えの傾向にある。年末に向かって野菜も葉物、果菜中心に高値を推移している。特に胡瓜、レタス類が例年より高くなっており品薄状態となっている。果実はイチゴの入荷が減っており、その他は例年並みであった。

魚介類

・得意先である飲食店が忘年会自粛の影響で経営が厳しいと耳にした。主要な得意先がそのような状況だと同様に当社も厳しい。

業務用食品

・新型コロナウイルス感染症について、行動制限がなくなり外食は前年より売上増になった。食品価格改定が未だに続き、値上げ案内が追いつかず粗利率がダウンしている。経費は横ばいで利益がでない。

土産品

・全国旅行支援を利用する方が多く、クーポンを使い土産品を購入される観光客が非常に多くありがたい。

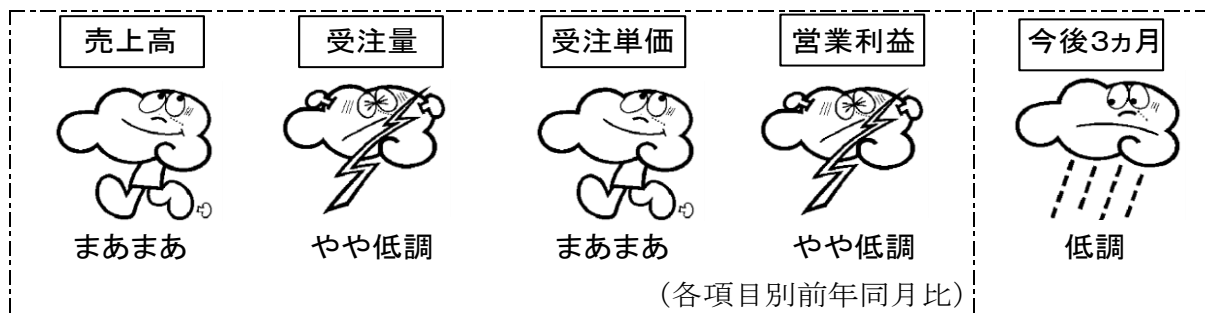
金属製品

・高炉は更なる強気姿勢で変わらずの状況下ではあるが、需要は自動車含め低調感があり市況状態は横ばいで推移している。建築案件は長期的な大型案件ばかりが目立ち、納期や輸送コスト等の経費アップとなり適正な加工賃となっているか不透明な部分がある。産機、建機関連は横ばい推移となっており年度末へ向けて不安が残る。

自転車

・冬物、クリスマス商材など盛り上がり欠けたところがあった。輸入商材を中心に円安による仕入価格の上昇が続いている。購買意欲が低下しないか懸念される。

4. 小売業



【項目別DIの推移】

	R3年12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	9.1	4.4	▲28.0	4.2	4.5	26.1	▲3.9	0.0	▲9.5	4.2	4.8	4.8	4.2
販売客数	0.0	▲4.4	▲32.0	▲4.2	4.6	17.4	▲15.4	▲33.3	▲9.6	4.1	0.0	▲4.8	▲4.1
販売客単価	27.3	0.0	4.0	16.7	0.0	8.7	▲11.5	▲11.1	4.8	0.0	▲4.8	0.0	12.5
営業利益	0.0	0.0	▲16.0	4.1	0.0	8.7	▲23.1	▲27.8	▲42.9	▲4.2	▲28.6	▲9.6	▲12.5
見通し	▲27.3	4.3	▲12.0	0.0	4.6	8.7	▲11.5	▲27.7	▲9.5	▲4.2	▲4.7	9.5	▲16.6

<経営者の目・見方・etc>

洋菓子店

- ・小売業全体が10%以上良くなってきているような気がする。新型コロナウイルス感染症が少なくなれば売上は少しずつ良くなるような気がする。
- ・人の動きが活発化しているのかギフト需要が多かった。新型コロナウイルス感染者数は増えてきているがこのままの状況が続いてほしい。クリスマスは寒波や燃料高騰の影響を受けイチゴの価格が高くなり大変であった。

和菓子

- ・年末は良かったが、12月の初旬、中旬はあまり良くなかった。

生鮮食品

- ・市内に観光客が大勢入ってきているのがわかる。市内の人の流れは今までとさほど変わらないと思っていたが今年は違った。その成果が売上に現れた。

薬局

- ・客足が全然元に戻らず苦戦している。キャンペーンを行うが、来店には繋がっていない。

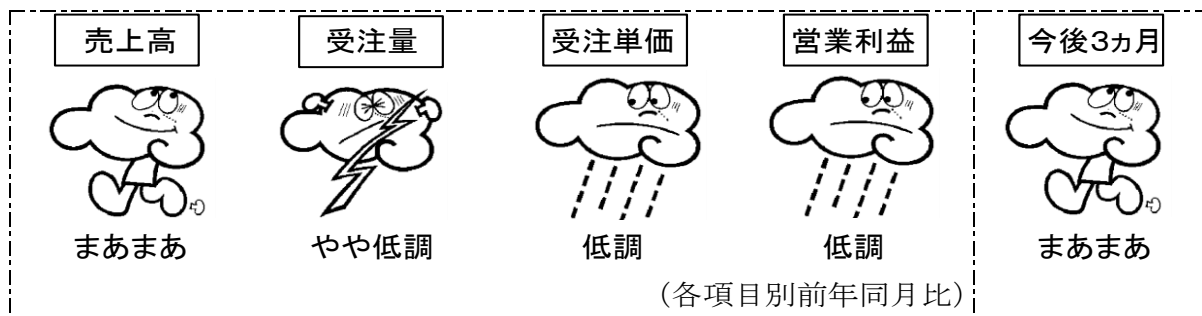
印章

- ・12月及び1年間の売上は昨年とほぼ変わらなかったが、補助金がない分余裕がなくなった。各メーカーから値上げの通達があり、1月から小売価格を上げざるをえない。年賀状終了の通知がいくつも届いた。来年は12月の印刷需要がいままで以上に減りそうである。

燃料

- ・原油価格が今後どのように推移していくか非常に気になる。また政府からの仕入価格高騰に伴う補助金等があると非常に助かる。

5. 飲食業



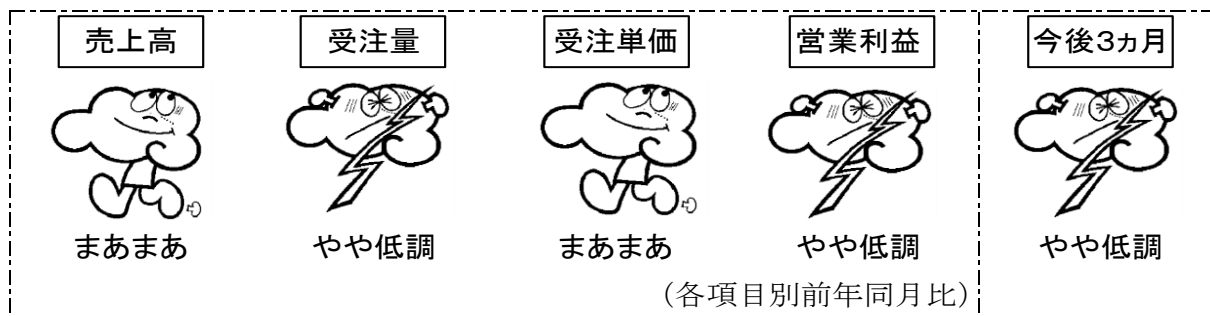
【項目別DIの推移】

	R3年12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	16.6	▲ 50.0	▲ 80.0	▲ 35.3	0.0	7.2	11.8	5.9	33.4	20.0	30.8	▲ 6.6	7.2
販売客数	16.6	▲ 62.5	▲ 86.7	▲ 35.3	7.2	0.0	11.8	11.8	20.0	13.3	23.1	0.0	▲ 7.1
販売客単価	5.5	▲ 37.5	▲ 53.3	▲ 35.3	▲ 7.2	0.0	▲ 5.9	▲ 11.7	6.7	▲ 6.7	7.7	13.3	▲ 28.6
営業利益	16.6	▲ 56.2	▲ 80.0	▲ 47.0	▲ 21.5	▲ 21.5	▲ 11.8	▲ 11.8	▲ 13.3	▲ 33.3	▲ 30.8	▲ 26.7	▲ 28.6
見通し	▲ 33.3	▲ 43.8	13.3	11.8	7.2	7.1	11.8	▲ 11.8	▲ 20.0	6.7	▲ 7.7	13.3	0.0

<経営者の目・見方・etc>

- | | |
|------|---|
| 料理 | <ul style="list-style-type: none"> ・年末に向けての準備をするのだが材料の高騰があるので毎日が不安である。景気は良くなく財布の紐が固い。 |
| そば | <ul style="list-style-type: none"> ・観光客も11月下旬から徐々に減り12月に入り激減した。夜の宴会も少ないが、常連のお客様の予約がそれなりにありキャンセルもなく、助けられた。感謝の一言に尽きる。 |
| 寿司 | <ul style="list-style-type: none"> ・大口の宴会はほぼないが、昨年までと異なるのは少人数での宴会が非常に増えたことである。また、環境によっては食事需要がほぼコロナ禍以前に戻っている店舗もあり、今までと違って底堅い回復傾向にある。 ・信州プレミアム食事券が非常に好評である。利用が多くお店側としては後の手続きがなく簡単でスムーズである。ただ利用する側はスマホをうまく操作することができない人が多く戸惑っている様子が見受けられる。店側でもきちんとアドバイスをして対応している。 |
| 食堂 | <ul style="list-style-type: none"> ・長野県の新型コロナウイルス感染者数と死者数が全国的にワースト上位に入っている中、年末の予約等増えているが宴会らしきものは少なく会食等の予約が増え少し忙しくなっている。 ・客入りは戻ってきたが、材料費や光熱費が値上がりしているので収益は厳しい状況が続いている。新型コロナウイルス感染者数が増大しているのも不安である。 |
| 郷土料理 | <ul style="list-style-type: none"> ・全国旅行支援のおかげで週末の旅行客は増えているが、地元に向けてみると新型コロナウイルス感染者数が増えている、忘年会の予約も少なく平日は客数も少なめである。新年会の予約もほとんどないので先行きが不安である。 |
| 創作料理 | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響を受け始めてから今年の4月で4年目を迎える。12月を迎える時点では予約件数も6件48名があったが、感染者数が増え始めると次々とキャンセルが入りゼロとなってしまった。年越しの予約が仕出しで2件あったが焼け石に水であった。2年連続で静かな正月となった。そろそろ限界である。 |

6. サービス業



【項目別DIの推移】

	R3年12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	▲2.5	0.0	▲12.0	9.8	5.0	19.0	17.0	4.8	7.5	0.0	0.0	▲2.7	10.5
販売客数	▲10.0	4.7	▲23.8	▲4.8	▲2.5	11.9	7.4	2.4	7.5	▲2.6	7.5	5.4	▲5.2
販売客単価	▲12.5	▲2.3	▲14.3	0.0	0.0	0.0	7.3	▲2.4	2.5	5.1	7.5	10.8	5.2
営業利益	▲10.0	▲4.7	▲31.0	2.4	▲12.5	7.1	2.4	▲2.4	0.0	▲7.7	▲5.0	▲16.2	▲5.2
見通し	▲17.5	▲20.9	2.3	2.5	15.0	9.6	4.9	7.1	15.0	5.1	2.5	▲5.4	▲5.2

<経営者の目・見方・etc>

旅館	<ul style="list-style-type: none"> 飲食業、宿泊業の人手が特に不足しているため予約をセーブしなければならず、10日より再開される全国旅行支援も規模が小さく総額にも限度があるためGo Toトラベルのような爆発的なものとはならなさそうである。
温泉旅館	<ul style="list-style-type: none"> 全国旅行支援のおかげで好調な売上高であった。1月の連休明けから本格的にオフシーズンに入るため、人件費や光熱費、材料費などすべての経費の見直し、削減をして冬場を乗り越えたい。また、空いている時間を使い社員教育をして来春の繁忙期に備えたい。
ホテル	<ul style="list-style-type: none"> 12月は全国旅行支援の利用が少ないように感じられたが、長野県内に目を向けてみると利用者が多いように感じる。運用については消費者がよく調べており感心する。 「松本ウィンターフェスティバル」が始まって今後期待してる。
ホームクリーニング・リネンサプライ業	<ul style="list-style-type: none"> 生産における人手不足が深刻である。
リラクゼーション	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症が蔓延している。
獣医	<ul style="list-style-type: none"> 業種はおおむね良好に推移している。新型コロナウイルス感染症については新種の変異株にも対応でき、より効果のあるワクチンを開発し、ワクチンを接種したら予防期間は感染を防ぐようにしてほしい。先月に続き従業員やその家族が感染したり濃厚接触者になったりと大変な月であった。
機械設計	<ul style="list-style-type: none"> 仕事量が多いが、未だに購入部品の納入に時間がかかっているため、部品を発注し納入時期を確認しなければユーザーに納期を伝えられない。
建設設計	<ul style="list-style-type: none"> 建設コストが上がり手控えが多い。
タクシー	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の規制緩和により人出は徐々に増えてきたが大きな忘年会等はまだ見られなかった。
自動車整備・板金塗装	<ul style="list-style-type: none"> 未だに新型コロナウイルス感染症の影響がある。弊社でも従業員が感染してしまい、数日間は休みをとらざるを得なくなった。これからはなかなかコロナ禍の地獄から脱出するのは難しいようである。1月はさらに感染者数が増えるのが心配である。
写真・ビデオ	<ul style="list-style-type: none"> 融資を受けようとしたが保証協会承認されなかった。

